

令和5年度 かながわティーチャーズカレッジ

# COLLEGE NEWS

カレッジニュース



令和5年12月17日 発行  
神奈川県立総合教育センター  
かながわティーチャーズカレッジ事務局  
(教育人材育成課キャリア開発班)

## 第9回 かながわ教育学講座

令和5年12月3日、第9回かながわ教育学講座が開催されました。第9回教育学講座では午前中、希望の校種・教科等に分かれての模擬授業「授業づくりを学ぶ②」、午後から「道德教育」をテーマに講義を受け、グループ活動を行いました。

### 模擬授業・演習「授業づくりを学ぶ②」

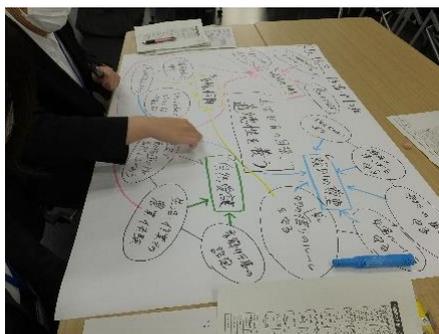
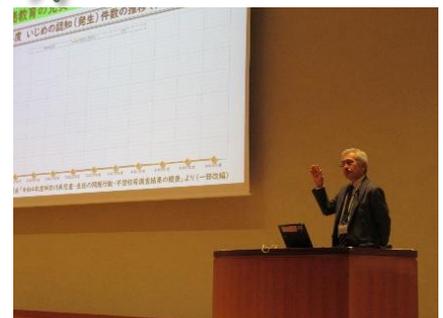
受講者は、第6回かながわ教育学講座の講義・演習で学んだ、「授業の目標」「評価規準」「評価の場面」をどのように設定するか、また、「子どもたちが主体的に学びに向かうために、どのような学習活動を取り入れるか」を考え、自分の希望する校種・教科等の学習指導案を作成して模擬授業に臨みました。

模擬授業では、授業者が「子どもたちに身に付けさせたい力（資質・能力）」や、どのようなところを工夫しているかを説明してから授業を行いました。模擬授業後にはグループごとに他の受講者からよかった点やアドバイスを聞き、自分の授業を振り返りました。どのグループでも、「ここはなぜこうしたのか?」「この場面はこうするとよいのでは…」と、お互いの授業をさらによくするために意見を出し合い、授業の改善に向けて積極的に話し合う姿が見られました。

### 講義・グループ活動「道德教育」

講義「道德教育」では、いま求められている道德教育や道德科の授業について理解を深めていきました。道德教育と特別の教科「道德」はどう違うのか、道德が教科化され何が変わったのか等を確認しました。講義全体を通して、「道德教育は（道德科を要として）学校教育全体を通しておこなうもの」であることを学びました。また、講義中の演習では、「雨のバス停留所」という資料を用いて、受講者どうして「考え議論する道德」となるような発問について考えました。

グループ活動では、講義の内容を受け「子どもの道德性を養うためには、どのような教育活動が考えられるか」について具体的な場面を想定しながら話し合いました。受講者同士で積極的に議論を重ねる中で、学校における様々な教育活動が道德教育に結び付いていることに気付き、全体発表で互いの気付きを共有しました。



## 受講者のワークシートより

### 《オープンコース》

模擬授業を通して見えた自分の課題や他の人が実践していたよいところを取り入れて改善し、よりよい授業にしていきたい。また、授業づくりにおいて国立教育政策研究所の「指導と評価の一体化」や総合教育センターの「授業づくりガイド」をもう一度熟読、研究したい。

### 《チャレンジコース小学校》

本日の模擬授業で、自分自身の改善点をたくさん見付けることができた。グループの方々から、様々な視点での確かなアドバイスをもらうことができたので、改善させ、次回の模擬授業に繋げていきたいと思う。また、異なる学年、単元の授業を受けることができ、人によって授業計画や発問の仕方、教材など様々であると感じた。そのため、よかったところを自分のものにできるように、工夫の方法について聞いたり、観察したりしようと思う。

### 《チャレンジコース中学校英語又は高等学校英語/中学校国語又は高等学校国語》

様々な視点からグループでの意見、指導主事からのアドバイスを聞くことができ、視野が広がり、改善に繋がられるきっかけになった。特に、今回は10分間であったが、その時間のその活動にどのような意図があるのか、帯活動と展開の関連性（伏線の回収）、活動に至るまでの指導・意義をしっかりと整理して授業をデザインしていきたいと思う。また、クラスルームイングリッシュや板書、声の大きさ、配付物の準備を最低限クリアした上で、構成や導入等のもっと高いレベルのアドバイスを聞きたいと思ったので、次回はよりしっかりと準備をしてこようと思う。

アドバイスを聞き、生徒に対する発問や学習活動を行なう目的・内容を明確にした上で計画していくことが大切であると感じた。実際、授業をやってみた際、自分が想定していなかった質問や意見もあがってきた。準備を入念にしておくことは、そういった場面時において慌てずに対処することができると感じた。また、声の大きさやトーンなどは生徒のモチベーションに大きく繋がると感じた。今後、授業の際には、声やジェスチャーなど、授業の雰囲気形成するものを意識して計画したい。

### 《オープンコース》

本日の講座を通して、道徳的な価値を学ぶための教育活動は本当にたくさんあり、活用するチャンスであふれているということを知った。また、他の班の発表で自分たちが書いた教育活動が違う内容と関連付けられていることを見て、一つの教育活動でも何を大切にするかという教師の考えによって違った道徳教育を行うことができるということに気付いた。これからはそれぞれの活動から何を学べるのかをよく考え、指導に当たっていききたいと思う。

### 《チャレンジコース特別支援》

本日の講義では道徳教育について学んだ。その中で、私が最も注意すべき点と考えた点は、押し付け道徳になっていないか、という点だ。私はスライド資料を見て、どこが悪いのか、どう改善すべきか考えることができなかった。この講義を受けていなかったら、教員となった際に、押し付け道徳をしてしまうところであった。押し付け道徳をしてしまわないように、このことをよく振り返り、自身の課題として、修正していきたいと考えた。